

千年王国 (2) [要約]

黙示録 20 : 1 ~ 6

- 1 また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手を持って、天から下って来るのを見た。
- 2 彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕まえ、これを千年の間縛って、
- 3 底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解き放されなければならない。
- 4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。
- 5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。
- 6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。

千年王国の説に3つあります。

- (1) 千年王国「前」再臨説
- (2) 「無」千年王国説
- (3) 千年王国「後」再臨説

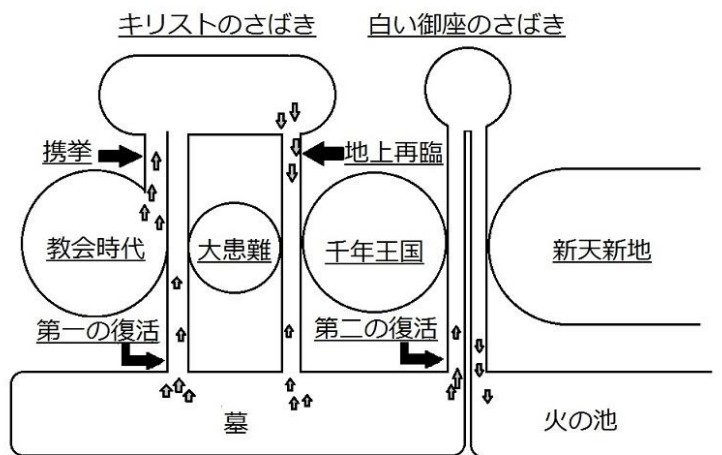
バプテスト教会は(1)の「千年王国前再臨説」を信じています。

(A) 悪魔の縛り

黙示録 20:1 また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手を持って、天から下って来るのを見た。

黙示録 20:2 彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕まえ、これを千年の間縛って、

黙示録 20:3 底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解き放されなければならない。



「底知れぬところ」 = 「悪霊を閉じ込めておくところ」
「大きな鎖」 = 「サタンを縛る」

悪魔、サタン、竜、古い蛇・・・サタンは底知れぬ所に投げ込まれ、封印された。

大患難時代は終わり、75日後から千年王国が始まります。

ダニエル書 12:11 常供のささげ物が取り除かれ、荒らす忌むべきものが据えられる時から千二百九十日がある。

ダニエル書 12:12 幸いなことよ。忍んで待ち、千三百三十五日に達する者は。

大患難時代の後半は、「3年半」=「1260日」です。「1335-1260=75」

いよいよ千年王国が始まりました。

アダムとエバが、サタンの誘惑によって善悪の知識の木から取って食べた事で、全ては呪われてしまった。創世記 2:17 しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

(1) 病気にかかるようになった。

イザヤ書 33:24 そこに住む者は、だれも「私は病気だ。」とは言わず、そこに住む民の罪は赦される。しかしキリストが統治するようになり・・・病気の者は、いなくなりました。

創世記 3:17 また、アダムに仰せられた。「あなたが、妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならない。

創世記 3:18 土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あなたは、野の草を食べなければならない。

アダムとエバが罪を犯した結果、自然界は呪われてしまいました、しかしキリストが千年王国で統治することによって、自然界は回復されました。

イザヤ書 11:6 狼は子羊とともに宿り、ひょうは子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜が共にいて、小さい子どもがこれを追っていく。

イザヤ書 11:7 雌牛と熊とは共に草を食べ、その子らは共に伏し、獅子も牛のようにわらを食う。

イザヤ書 11:8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れした子はまむしの子に手を伸べる。

イザヤ書 11:9 わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、そこなわない。主を知ることが、海をおおう水のように、地を満たすからである。

アダムとエバが罪を犯したことによって
創世記 3:11 すると、仰せになった。「あなたが裸であることを、だれがあなたに教えたのか。あなたは、食べてはならない、と命じておいた木から食べたのか。」
創世記 3:12 人は言った。「あなたが私のそばに置かれたこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです。」
アダムは主人ですから、エバが善悪の木からとって食べようとした時、「それは神様から禁止されていたことだろう。」と、止めなければいけなかったのです。しかも、自分も食べておいてエバに責任を転嫁しているのです。これが戦争の始まりです。しかし、千年王国でキリストが統治するようになり

イザヤ書 2:4 主は国々の間をさばき、多くの国々の民に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。
アダムとエバが罪を犯したことにより、目の見えない人や、耳の聞こえない人や、しゃべることの出来ない人や、足の不自由な人が出来てしまったのです。しかし千年王国でキリストが統治することによって

イザヤ書 35:5 そのとき、盲人の目は開かれ、耳しいた者の耳はあけられる。
イザヤ書 35:6 そのとき、足なえは鹿のようにとびはね、おしの舌は喜び歌う。荒野に水がわき出し、荒地に川が流れるからだ。
千年王国はなんと喜びに満ちたところでしょう。千年王国に入れてもらえる人は

- (1) 携挙されたクリスチャン
- (2) 大患難時代に救われた人々
- (3) 大患難時代に殉教した人々 (福音を信じた人々)
- (4) 大患難時代を生き延びた人々 (どうしてか理由はわかりません)

千年王国は喜びの国です。しかし千年王国の最後にサタンが解き放たれるのです。そして(4)に属する人たちは原罪を持っていますので、サタンに従ってしまうのです。この人たちは神様の裁きによって火の池にサタンと一緒に投げ込まれます。

黙示録 20:4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行なう権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拜まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

多くの座に座っている人々は

- (1) 携挙されたクリスチャン
- (2) 大患難時代に救われた人々
- (3) 大患難時代に殉教した人々

キリストと共に王となるというのは、千年王国でキリストと共に統治するという意味です。

黙示録 20:5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。
黙示録 20:6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。
「第一の復活にあずかる人々」≡「キリストの福音を信じた人々」
(キリストが自分の罪の身代わりとして死なれ、三日目に死人の中から蘇られたことを信じている人々)

第一の復活にあずかる人々大患難時の殉教者

【結論】

私たちクリスチャンは千年王国に入れていただき、なんと幸せなのでしょう。しかし、福音を信じていない人はなんと、不幸なのでしょう。私の兄弟のように福音を語っても信じてくれません。しかし福音を届ける道が必ずあるはずで

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。
福音を語る道は必ずあります。

マタイ 7:7 求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。

祈りましょう。